

再生医療に貢献するインテリジェント恒温キャリーボックスの開発

■支援の概要

難治性の皮膚潰瘍（かいよう）に対して、再生医療による低侵襲で高い治療効果が期待できる細胞シートを、細胞の培養を止めずに遠隔に位置する医療機関へ搬送することができる、自動温度調節機能を搭載した恒温搬送装置を開発しました。

■装置の概要

電子冷温式：加温から冷却まで幅広い温度に設定可能で温度制御機能を搭載
3電源仕様：家庭用AC100V、車両用DC12V、内臓バッテリーに対応
高い気密性：無菌状態を確保するため、1次容器～2次容器～3次容器を開発

■支援の項目

- ①容器形状の設計支援
- ②温度制御方法に関する技術支援
- ③定期的な開発会議の開催と進捗管理
- ④特許出願支援

■支援の成果

- 山口大学ー広島大学において、搬送試験を行った結果、無菌状態を維持しながら温度を保ちながら搬送できることを検証しました。
- 再生医療に係るGLP試験に用いる性能を満足していることを確認しました。
- 特許出願をしました。
- 研究用として平成30年3月に販売を開始しました。

